

第3回

世界に誇れる環境先進都市かめおか協議会

2019. 6. 25

レジ袋禁止条例の制定、施行に向けて

条例の制度設計(骨子となる考え方)

- 主 旨
- レジ袋の定義(禁止の範囲)
- 代替素材の考え方(レジ袋使用禁止の対象外)
- 事業者の範囲
- 市の責務 / 市民等の努め(責務) / 事業者の努め(責務)
- 無償配布の禁止
- 罰則規定

条例の制度設計（骨子となる考え方）

■ 主 旨

プラスチックが、その優れた汎用性、実用性から私たちの生活に密着し、また私たちもプラスチックの利便性に依存してきました。結果として、多くの使い捨てプラスチックが私たちが暮らす環境そのものを汚染する一因となり、海洋プラスチック汚染という、地球規模の環境汚染へとつながっています。

使い捨てプラスチック製レジ袋の禁止条例は、こうした私たちのプラスチックに依存してきたライフスタイルを見直すとともに川、海へとプラスチックごみを流さない意識のつながりの創造、さらにはごみの減量と地球温暖化対策等を含めた環境にやさしいまちづくりに寄与することを目的としたいと考えています。

■ レジ袋の定義（禁止の範囲）

事業所において、商品を運搬するために、無償または有償を問わず譲渡される手提げ袋をいう。

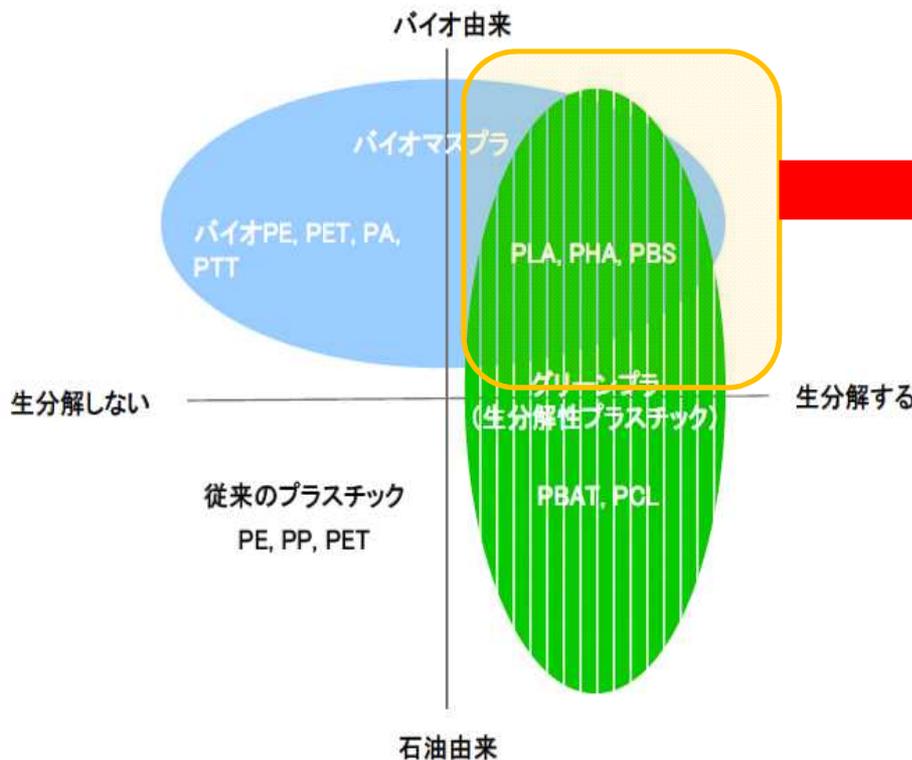
このうち、使い捨てプラスチック袋は使用禁止とする。

条例の制度設計(骨子となる考え方)

■ 代替素材の考え方(レジ袋使用禁止の対象外)

① 生分解性プラスチック ※使用禁止の対象外となるが、無償配布は禁止

バイオ由来で、かつ生分解するグリーンプラスチックを基本とする。
※ただし、土・水(海水)中で分解する素材



グリーンプラ(生分解性プラスチック)

通常のプラスチックと同様に使うことができ、使用後は自然界に存在する微生物のはたらきで、最終的に水と二酸化炭素に分解されるプラスチック

バイオマスプラ

原料として再生可能な有機資源由来の物質を含み、化学的又は生物学的に合成することにより得られる高分子材料

バイオプラスチック

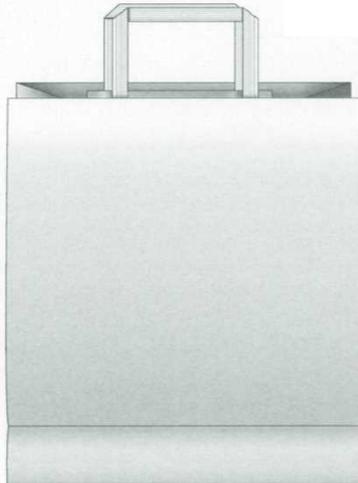
グリーンプラ(生分解性プラスチック)+バイオマスプラ

条例の制度設計(骨子となる考え方)

■ 代替素材の考え方(レジ袋使用禁止の対象外)

②紙製 ※使用禁止の対象外となるが、無償配布は禁止 生分解しやすい紙製品の包装資材への転換

サンプル



紙



FSC (Forest Stewardship Council®、森林管理協議会)



再生紙



間伐材



more trees paper

印刷



水性インキ

水性インキは、溶剤として「水」または「水とアルコール」を主に使用したインキで、環境の改善が図れると削減、ひいてはCO2の削減。



ボタニカルインキ

植物由来成分を含有する環境配慮型インキ。

条例の制度設計（骨子となる考え方）

■ 事業者の範囲

全業種 ※市内で事業活動を行うもの

第2回協議会では「皆が協力できる体制をとり、反対だからと言って抜け道を作るといったことがないようにしてほしい。」という意見も出されていた。

■ 市の責務

- プラスチック製レジ袋の使用禁止等の取組みの推進を図るために必要な措置を講じる。
- プラスチック製レジ袋の使用禁止等の取組みに関する市民及び事業者の意識の啓発に努める。

■ 市民の努め（責務）

- 商品を購入する際は、繰り返し使用が可能な買い物袋等（エコバッグ）を持参するなどして、レジ袋の使用抑制に努める。

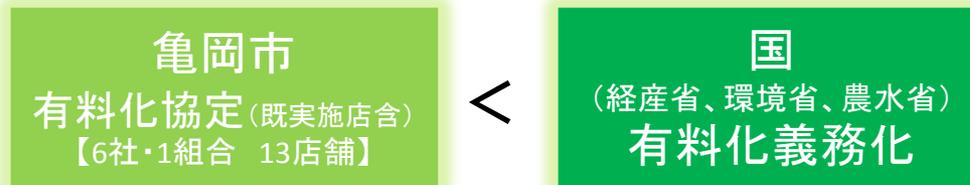
■ 事業者の努め（責務）

- プラスチック製レジ袋を提供してはならない。
- プラスチック製レジ袋の使用禁止等の取組みに協力するよう努める。

条例の制度設計（骨子となる考え方）

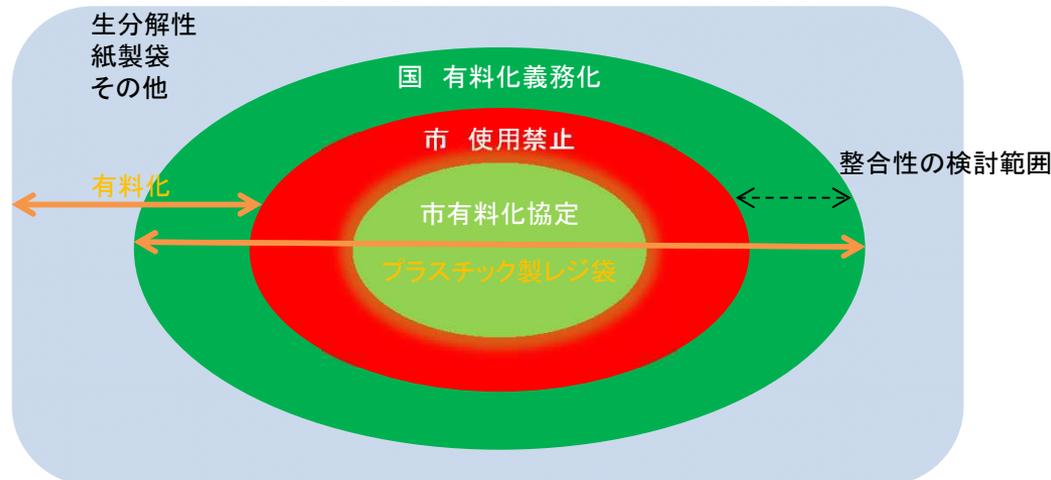
■ 無償配布の禁止

国では、経済産業省、環境省、農林水産省、などとの間で、有料化するレジ袋の範囲や素材の定義、小規模事業者の負担軽減策など制度の詳細を協議し、早ければ2020年4月に有料化を義務化する方針



※国の有料化義務化と整合を図った規定整備を検討する。

（参考）国の有料化と 市の使用禁止の範囲の相関図



条例の制度設計（骨子となる考え方）

■ 罰則規定（法令上の罰則ではないが、実質的なペナルティ規定）

- 指導及び助言
- 立ち入り調査
- 勧告
- 措置命令
- 店名（氏名）公表

※過料に処する規定は設定しないことを基本に進める。

■ ポイ捨て条例の制定

レジ袋使用禁止条例による発生抑止とポイ捨て条例による不法行為防止を両輪で進めていくことで、川・海へのプラスチックごみの流出防止に努め、アユモドキをはじめとする川の生態系や保津川の自然景観の保全、さらには海洋プラスチック汚染の解決に向けた取組みを加速させる。

レジ袋有料化協定の締結について

■『亀岡市におけるエコバッグ等の持参及びレジ袋の大幅削減の取組みに関する協定』の締結 ※日用買回り品用レジ袋から対象

(1) 第1回協定締結: 令和元年5月29日(水)

締結企業等

株式会社 マツモト

協同組合 亀岡ショッピングセンター

イオンリテール株式会社

株式会社 ハートフレンド

(2) 第2回協定締結: 令和元年6月28日

締結企業

株式会社 平和堂

株式会社 やまむらや

(3) 有料化開始: 令和元年8月20日(火)



協定締結
6社、1組合 13店舗

Plastics Smart かもおか100人会議

Plastics Smart かもおか100人会議 亀岡のシティプライドづくりへの挑戦！



Plastics Smart かもおか100人会議

- 3 実施内容 (1)ローカルとグローバルな視点で「かもおかプラスチックごみゼロ宣言」に込めた想いを共有するミーティングを次の流れで進めます。
- 「源流」…たった二人の船頭の活動から流れがスタート。その当時の現状、活動に込めた想い。
 【保津川遊船企業組合 豊田知八（とよだ・ともや） 理事長】

Step1
7/21又
は
8/10

シリーズ
イベント

- 「シビックプライドの創造」…市民、NPO等のネットワークが拡大。行政として「環境」を切り口に「地域ブランド」の向上さらには、「シビックプライド」の創造へと展開。
 【亀岡市環境政策課 山内 剛（やまうち・つよし） 課長】

- 「世界の潮流」…世界のプラスチックフリーへの潮流。その流れの最新情報と亀岡市の取組みの意義は。
 【大阪商業大学 原田禎夫（はらだ・さだお） 准教授】
 【亀岡市企画管理部 仲山徳音（なかやま・なるね） 地方創生担当部長】

- フリーディスカッション

プラごみゼロ想い共有ミーティング
【亀岡市】

Step2
8/17

- (2)上記(1)のミーティング参加者をロゴマーク制作プロジェクトのワークショップへつなげ、ロゴマークのアイデアシートを作成します。
 【ファシリテーター：山崎 亮（やまざき・りょう） 氏】

Step3
9~11月

- (3)上記(2)のワークショップで作成したロゴのアイデアシートと関係者（ワークショップ参加者を含む）とともに、デザイナーによるロゴマークデザインへ展開します。【デザイナー（奥村昭夫（おくむら・あきお） 氏）】

ロゴマーク制作プロジェクト
【かもおか霧の芸術祭実行委員会】

2020年1月 『かもおかプラスチックごみゼロ宣言』の象徴となるロゴマークの完成



KAMEOKA FLY BAG



KAMEOKA FLY BAG



What's FLY BAG?

亀岡の山に近い上空を泳ぐ
色とりどりのパラグライダー。
この空に浮かぶパラグライダーと
私たちの地上の暮らし、
そしてエコが出会います。

「パラグライダーから FLY BAG に」

空中に浮かぶ軽さと丈夫さを誇る
ナイロン製の生地が、役目を終え
持ち主の手から離れ、
別のカタチへと生まれ変わり、
亀岡をめぐるプロジェクトです。



KAMEOKA FLY BAG



KAMEOKA FLY BAG

STORY



パラグライダーは安全性を考慮し、

数年ごとに操縦機を一式交換しなければなりません。

今回のプロジェクトでは、空を飛び終えた

パラグライダーの布を提供していただき、使用します。

空でひろがった布が、形を変えて、今度は街でひろがります。

